

(様式1)

## 自 己 評 価 表

新居浜東高等学校  
学校番号( 4 )

教育方針	たくましい体力と自己開拓力、知性と品性にあふれる心豊かな人間性を備えた人材を育てる。	重点目標	自らを鍛え、たくましく未来を切り拓く生き方を求めて
------	--------------------------------------------	------	---------------------------

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	家庭学習の充実	家庭学習1日平均3時間以上を確保させる。 A:80%以上、B:60%以上、 C:40%以上、D:20%以上、 E:20%未満	C	1学期は13%、2学期は41% (1年43%、2年38%、3年38%)だった。1学期は県総体明けということもあり今年度は致し方ない面もあった。	定期考査前だけではなく、日常的に家庭学習が積み重ねられるよう課題等の工夫をしていきたい。
	教科指導の充実	年間2回相互参観授業を行い、その成果を授業に反映させる。授業評価「教材の工夫・改善に努め、生徒の興味・関心を引き出している」90%以上を目指す。 A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満	A	相互参観授業を1・2学期実施し、授業研究に生かした。生徒による授業評価においては、「興味・関心が持てる」の項目は、全学年平均すべて90%以上であった。「タブレット等ICT機器を用い効果的教育活動を行っている」は86.9%であった。	来年度も、相互参観授業を実施し、生徒の授業評価がより良くなるように授業研究に取り組んでいく。授業においてICTの利用は進んでいるが、教員の個人差があるので日々の研鑽が必要である。
		生徒による授業評価を年2回行い、「分かりやすい授業を行っている」90%以上を目指す。 A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満	B	生徒の評価は、1学期88.4%、2学期84.7%。平均86.6%であり、昨年度から3.7ポイント上昇している。	教員の自己評価が95%を超えているにもかかわらず、生徒は80%台にとどまっている。その差を埋めるべく、より一層生徒のニーズに合わせた授業改善の研究を進めていく。
	読書活動の充実	読書冊数年平均1人10冊以上を目指す。 A:10冊以上、B:7冊以上、 C:5冊以上、D:3冊以上、 E:3冊未満	C	全学年の平均は5.1冊だった。1年生が7.3、2年生が5.3、3年生が3.1と学年が上がるごとに減少している。	図書館だよりや展示・広報を利用して粘り強く読書の楽しさを伝えていくとともに、蔵書や配置等も工夫していく。

※ 評価は5段階 (A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった) とする。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針
進路指導	進路指導の充実	進路満足度100%となるよう進学・就職とも希望する進路実現を目指す。 A:100%、B:90%以上、 C:80%以上、D:70%以上、 E:70%未満	B	進路指導に関するアンケートにおいては、概ね良い評価をいただいている。保護者の評価はやや低めであることを鑑み、情報の提供について工夫が必要であったように思う。	新学科が立ち上がることを受けて、進路指導の工夫が必要になってくると考えている。早い段階から、普通科・健康スポーツ科それぞれが独自で進路を検討できるものと、本校として統一性を持たせるものとの判断しながら、検討をしていきたい。
生徒指導	規範意識の醸成	いじめの未然防止、早期の認知・対応など、きめ細かな取組を行う。	B	友人関係のトラブルが1年生を中心に見られた。学年、教育相談課が対応した。	いじめのアンケート等、認知に至る方法を工夫していく必要があるとともに、引き続き、早期発見、対処の取組に注力する。
		交通安全指導を徹底し、交通事故・違反件数0を目指す。 A:0件、B:1~20件、 C:21~30件、D:31件~50件、 E:それ以上	C	現時点での自転車等での通学中の交通事故発生件数が8件(うち5件が人身事故)であり、交通ルール違反等での指導が16名と、例年に比べてやや多い状況である。	事故防止に向けた啓発活動や、街頭指導など、交通モラルの向上に向けた取組を強化していきたい。
健康安全指導	生活習慣の確立	年間出席率95%を目指す。 A:95%以上、B:90%以上、 C:85%以上、D:80%以上、 E:80%未満	A	1月24日現在で延べ日数約11200日、欠席延べ日数3521日。出席率は約97%である。	目標は達成しているが、長欠の生徒、遅刻の多い生徒もいる。様々な理由があり、即効性のある対策は立てにくい。教育相談課、保健厚生課等と協力しながら登校を促したい。
	交通安全指導の充実	地元警察署とタイアップし、交通マナーアップクラブの活動を推進する。	—	昨年度同様、警察と共同での交通サミット及び交通安全マナーアップクラブは実施されなかった。	警察からの交通安全に関する情報を活用しながら、交通マナーの向上に努める。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。

特別支援教育	特別支援教育の充実	個々に応じた支援体制を整える。欠席状況を常に把握し、ケース会議等を通して教職員の共通理解を図り、個々の生徒に対応する。	B	新年度の最初に全体での支援会議を行い、情報共有を行った。また、個別の事案についても養護教諭、SLA、学年団等で連携し、共通理解を図ることができた。	教育相談日誌をより一層活用し、気になる生徒についての情報共有を行う。また、生徒が教育相談室を活用しやすいように整備を行う。
保護者・地域等との連携	開かれた学校づくり	年間を通じて、積極的に授業公開を行う。 A：4回以上、B：3回以上、C：2回以上、D：1回以上、E：1回未満	B	例年通り5・6・11月に公開授業を実施した。評価票を配布し、保護者等の参観者の意見を取りまとめ、教職員に還元した。	来年度も引き続き実施し、評価票の意見を授業研究に生かしていく。
		学校行事を保護者や地域に積極的に公開する。	B	学校行事において保護者と連携を図りながら協力し、積極的に活動できた。	迅速な学校行事等の計画・案内・準備に心掛け、幅広く参加と協力を求めたい。
	情報提供の充実	ホームページを充実させ、週5回以上の更新を行う。 A：5回以上、B：3回以上、C：2回以上、D：1回以上、E：1回未満	A	次年度から体育科が設置されることに合わせ、1学期終わりからyoutubeで部活動の紹介を始めた。夏休み中等の長期休業を除けば、ホームページの更新は、週5.1回であった。	ホームページの更新ができる教員が限られているため、負担が大きい。体育科の内容を配信したり、各部活動の内容を配信したりすることができる教員を増やすことで、毎日HPの内容を更新することを目指していく。
		メール配信サービスを活用し、ニーズに合った情報を迅速に発信する。	A	保護者に対してマチコミやClassiを利用して、学校行事の案内文書や災害時の対応マニュアル等を作成し、迅速な情報共有を図った。	メール配信サービスを導入後、情報提供は適切に行われていると思う。生徒が直接関わらないPTAの行事等にも活用させていければと思う。
教育環境	教育環境の整備	進路希望に応じた個別指導の充実と課外の有効活用を行う。自習室・進路室の利便性の充実を図る。ICT機器の導入が進んだことを受けて、ICT機器の有効活用を目指す。	B	進路室の教材を借りて早い時期から受験勉強に励む3年生の生徒の数が増加した。なかには2年生の姿も見られた。自習室の利用に関しては、1・2年生の利用が増加し、考査前だけでなく、継続的に学習する生徒の姿があった。	個別の面談を増やし、個々の希望に合わせた進路指導を充実させたい。1、2年生でも進路相談できる環境整備に取り組みたい。
業務改善	ICT機器の活用による業務作業の効率化	校務系やクラウドサービスの活用により日常の事務作業の効率化を行うことで業務負担の軽減を図る。	B	EILS (EHIME ICT LEARNING SYSTEM) PBT採点システムの導入により、中間・期末考査の採点作業の効率性が格段に向上し、教員の負担が軽減した。	一人1台端末を活用し、職員朝礼等の縮小を検討し、より一層の働き方改革を進めたい。
※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。					